



アイウエオ、イウエオア。
アッ、アーーーーー!
よし、今日もいい声。じゃあ、行きま〜す。
校内放送、スタート!!

今月のよどじんは、
英真学園高等学校 放送部

はし もと み ち よ
橋本 美千代さん

笑顔ひろがる放送室。



でもスイッチが入ると素の自分はどうしても内気、

将来の夢は『役者』 あの方が目標です

「藤田まことさんのような役者になりたいんです」。高校生活の中で放送部を選んだキッカケを質問すると、思いもよらない答えが返ってきた。

物心がつき始めた頃から、いつもテレビにしがみついていた。なかでも一番のお気に入り、必殺仕事人。何気ない日常シーンから“お仕事”に切り替わる瞬間の、あの顔にシビれた。

今は『声』一本の勝負

役者という夢に向け、今は放送部に所属し、自分の『声』一本で勝負する。部員は美千代さんを含め現在6名。校舎の一角に設けられた放送室からは、10月の学園祭で披露するラジオドラマのセリフ合わせの音が静かに響

く。「よ〜い、スタート」で始まる緊張感の中、皆それぞれの役になりきり、抑揚の効いた声でセリフを回していく。

本当は内気な自分 でもスイッチが入ると…

放送部の他に生徒会の役員もこなす美千代さん。何でも積極的に行動し、クラスでもどちらかというと盛り上げ役だというのが、実は素

の自分はかなり内気なのだとか。「中学校でも放送部だったんですけど、常に内気な自分がいて、照れ屋で後輩に話しかけることも出来なかった。でも今は、役を演じ切る自分や、1年生に優しく教えている自分がある。オンとオフが切り替えられる。成長したな〜なんて、我ながら思っています(笑)」。

練習相手はお母さん

年の離れた3人姉妹の一番末っ子で、自宅での自主練習をいつも優しく見守ってくれるのはお母さん。時折入る姉2人の横やりにもめげず、腹筋、体幹、発声と練習に余念がない。

ただいま高校2年生 長い道のりの途中で

ただいま高校2年生。夢と現実とのギャップや、周りの人との調和など、不安や悩みもたくさん抱える。それでも「役者になって、色々な役を演じたい。見る人を一喜一憂させたい。そして、テレビ画面で演じる姿を、大好きなお母さんに見せてあげたい」と思いは募る。

夢に向かう道のりの、真っすぐな言葉一つひとつが、聞いているこちらの心をワクワクとさせてくれる。



▲卒業生から贈られた可愛いぬいぐるみが日々の放送を見守ります。



ななな、なんと、
英真学園放送部の皆さんが、9月17日の区民まつりに登場!
淀川区18地域の紹介をしてくれるよ〜!!

難しい地名もあるけど、かまない
ように頑張ります!

お住まいの地域に
新しい発見があるかも!?

放送に興味を持っていただけ
るよう工夫します!

▲区民まつりでの放送は、会場の散水タイムにおこなわれます!